

令和3年度 施策・事務事業評価の結果について

【概要】

- 限られた財源や人材で、複雑多様化する県民ニーズに的確に対応しながら持続可能な県政運営を行っていくためには、時代の変化に伴う行財政運営の不断の見直しが必要
- そのために、事務事業の必要性や効率性の点検に加え、個々の事務事業の施策への寄与度にも注目し、施策・事務事業評価を一体的に実施した。
- 総合計画における「施策の目指す姿」の実現に向け、着実に推進している施策がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等で進展が小さい施策も存在
- 進展が小さい施策については、新型コロナウイルス感染症などの状況の変化を踏まえた改善策を講じながら、「施策の目指す姿」の実現に向けた取り組みを進めていく。

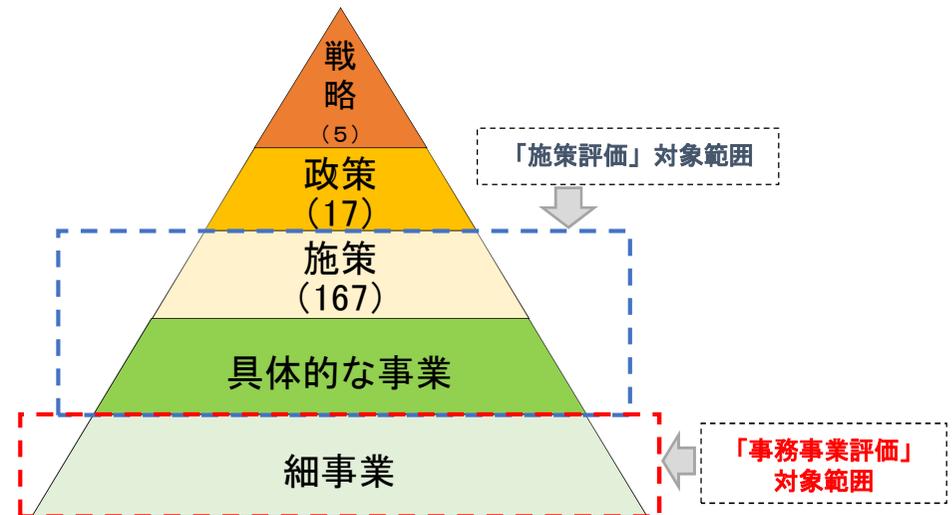
■施策・事務事業評価の内容

- ・評価対象 施策評価 総合計画アクションプランのうち「基本理念実現に向けた政策体系」に掲載の167施策
事務事業評価 167施策の「具体的な事業」に連なる細事業
- ・評価方法 各施策の成果指標の達成状況に加え、具体的な事業の実施状況、施策を取り巻く外部環境への対応等を総合的に評価

■施策評価

- ・167施策の内、新型コロナウイルス感染症の影響等による状況の変化を要因に、進展が小さい施策は17存在

評価	施策数
順調に進展	150
進展が小さい	17
進展がない 目標に向かっていない	0
計	167



■事務事業評価

- ・167施策の「具体的な事業」に連なる516の細事業のうち、実施状況を踏まえ、32の事業を見直し。

他事業と統合	事業の縮小	実施方法の変更	計
2	2	28	32